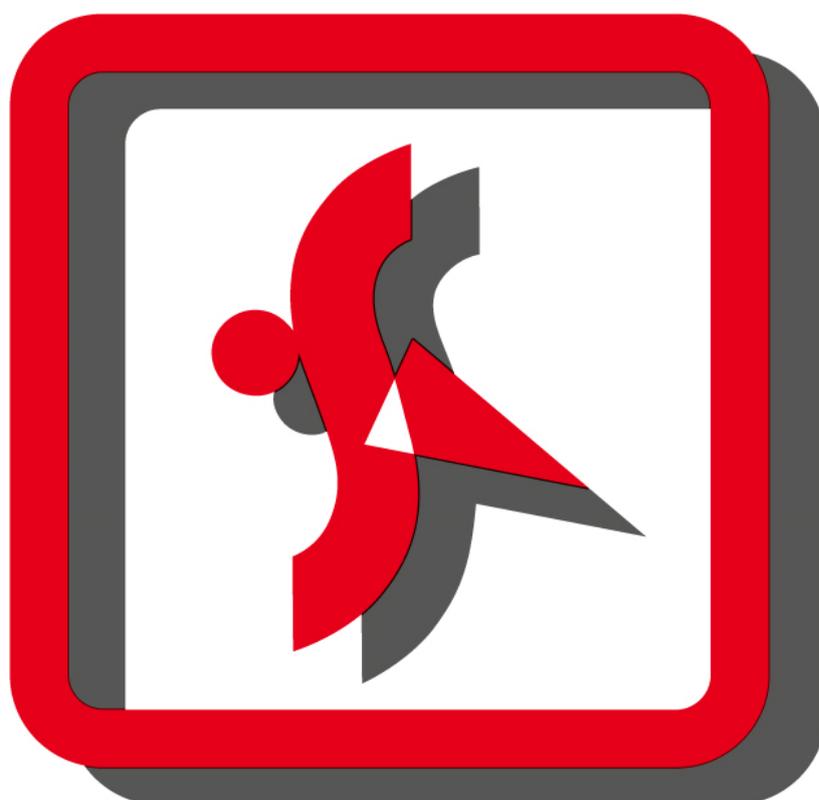


2018 全日本ジュニアカップオープンビック選手権

大会レポート
12月2日～3日



スポーツ振興基金

独立行政法人日本スポーツ振興センター

はじめに

本大会は、ジュニア向けでヨーロッパを中心に、広まっているオープンビッククラスの2日間に跨って開催される全日本選手権クラスのオープンな大会となります。オープンビックというヨットは、比較的新しく作られたボートとなっており、海外の様子を見ると今後広まっていくことが期待されております。また、ワンデザインとなっているのが特徴で、選手全員がイコール条件で競技する点がジュニア・ユース世代にマッチしていると世界中で考えられています。

本大会は、全国から選手が参加し、初日は中風、2日目は強風と異なるコンディションの中、開催されました。初日はテクニックやスタートやコースのスキル、2日目は体力と精神力が問われる難しいシリーズとなりました。今後も1日制だけではなく、本大会のような2日間のレースを行い、レースを楽しむ子どもたちへ色々な選択肢を用意し、スポーツ並びにセーリング界をさらに発展させていきたいと考えております。

レポート

2018 全日本ジュニアカップオープンビック選手権を開催しました。

初日、2日目と全く違うコンディションの中、行われました。選手が持つ総合力が問われる大会となりました。



中風の中、初日のレースを走っています。

小学生から高校生まで一緒に走っています。今回は、年齢ではなく、選手のスキルにより、4つのクラスに分け、レースを行いました。実力が拮抗し、白熱したレースが行われました。



初日と変わり、2日目は強風のレースとなりました。

体の大きい選手が有利となりますが、絶対に勝てるとは限りません。自分の体を100パーセント使い、ゴールを目指します。



表彰式の様子です。

入賞された各選手の皆さんおめでとうございます！

